

| | | | |
|----------------|---|--|------------------------------------|
| 授業科目名 | ICT総合実践 | 教員名 | 桑原 重雄 |
| | ICT Integrated Practice | Eメールアドレス | skuwabara@miu.ac.jp |
| 授業形態 | 講義 | オフィスアワー | 授業終了後随時 (1-327) |
| 科目番号 | IBM307 | 担当形態 | オムニバス |
| 単位数 | 2 | 配当年次 | 3年/後期 |
| アクティブ・ラーニング | 1-(2) 自己評価 3-(2) 熟考する時間 3-(5) 非言語での言い換えや要約 4-(4) 事例研究 | 卒業要件 | 必須 (IBM/HTMコース) |
| 一般目標 | <p>情報化が進展しているビジネス現場において、必要とされる情報技術 (ICT) の知識習得と実践的な活用スキルの習得を目標とする。実際のビジネス現場における活用シーンを前提に、ExcelとPowerPointのスキルを中心に学び、自ら資料を作成しまとめる。</p> <p>本講義を通して、ビジネス現場で求められる資料起こしと取りまとめにどのように取り組めばよいのか学び、ビジネス実務に必要なスキルの修得を目指す。</p> | | |
| 到達目標 | <p>社会人として欠かせない情報分析と資料作成のスキルを身につける。また、AI LLM (対話型AI等) をビジネスで活用するための創造的思考法を実践できるようになる。</p> | | |
| 授業の概要 | <p>本講義は、技術的学習をもとに、教員が提示した課題に対して学生自らデータ分析・作成し、報告資料としての取りまとめと最終テストで構成される。</p> <p>授業では、AI LLM (ChatGPT等) を利用方法の習得とビジネス実務で利用頻度が高い、Excelでの分析、PowerPointでのプレゼンテーション資料作成を中心に学習する。</p> | | |
| ディプロマ・ポリシーとの関係 | <p>MIUディプロマポリシーのうち、「1:クリティカル・シンキングをベースとした高度な思考能力を身につけている。」「3:課題発見及び問題解決能力を身につけている。」「4:情報技術活用能力を身につけている。」に関連</p> <p>SPARCディプロマポリシーのうち、「DP1:科学的思考力」に関連</p> | | |
| 履修条件・注意事項 | | | |
| 授業計画 | NO | 授業の内容 | 授業外の学習課題 |
| | 1 | オリエンテーション 授業内容、進め方、到達目標、成績評価方法の説明 コンピュータの基礎知識 | 事前:コンピュータの基礎知識について事前確認しておくこと。(90分) |
| | 2 | コンピュータの基礎知識 処理とネットワーク | 事前:コンピュータの基礎知識について事前確認しておくこと。(90分) |
| | 3 | PowerPointの基本① デザイン、テンプレートの取得 | 事前:提示する課題について確認する。(90分) |
| | 4 | PowerPointの基本② プレゼンテーションの基本、スライドマスタ、表と図 | 事前:提示する課題について確認する。(90分) |
| | 5 | PowerPointの基本③ プレゼンテーション方法、アニメーション PowerPoint課題の実践 (地域事例をもとに資料作成) (SPARC:地域学) | 事前:提示する課題について確認する。(90分) |
| | 6 | Excelの基本① セルの書式設定 | 事前:提示する課題について確認する。(90分) |

| | | | | | | | |
|----------------|--|--|-------------------------|------|-------|---------------|------|
| | 7 | Excelの基本② オートフィル, グループ化, 相対参照・絶対参照 | 事前：提示する課題について確認する。(90分) | | | | |
| | 8 | Excelの基本③ 入力規則, プリント出力, 実用関数1 | 事前：提示する課題について確認する。(90分) | | | | |
| | 9 | Excelの基本④ 実用関数2 | 事前：提示する課題について確認する。(90分) | | | | |
| | 10 | Excelの基本⑤ グラフ① | 事前：提示する課題について確認する。(90分) | | | | |
| | 11 | Excelの基本⑥ グラフ② | 事前：提示する課題について確認する。(90分) | | | | |
| | 12 | Excelの基本⑦ ピボットテーブル | 事前：提示する課題について確認する。(90分) | | | | |
| | 13 | AI① 対話型 AI について | 事前：提示する課題について確認する。(90分) | | | | |
| | 14 | AI② 対話型 AI をビジネスで使う | 事前：提示する課題について確認する。(90分) | | | | |
| | 15 | 最終スキル確認 PowerPoint/Excel課題の実践 (地域事例をもとに資料作成) (SPARC:地域学) | 事前：提示する課題について確認する。(90分) | | | | |
| 学生に対する 評価 | 試験 | 小テスト | 課題 | レポート | 発表・実技 | 授業への参 加・意欲 | 合計 |
| | | | 60% | | 30% | 10% | 100% |
| 時間外の学習 について | 事前学習：90分 事後学習：90分 ・事前学習の共通事項：テキストの該当箇所を読んでおくこと。別途課題を指示することがある。 ・事後学習の共通事項：テキスト・配布資料を再読し実際の事例や関連情報を収集し理解を深める。 | | | | | | |
| テキスト | コンピュータの基礎： 富士通ラーニングメディア(2023)『よくわかるDX時代のICTリテラシー』FOM出版 PowerPoint/Excel/AI テキストは、講師が授業中に紹介する。 | | | | | | |
| 参考書・ 参考資料等 | | | | | | | |